

令和3年10月19日

各位

教育質向上委員会 委員長 芦澤昌彦

12月実施のオンライン研修について（ご案内）

新型コロナウイルスの影響により、急速にオンライン授業が普及しました。オンライン授業では、対話しにくいなどいろいろな問題点がありますが、「ブレンディッドラーニング実践～オンライン授業*でのアバター活用とバーチャルキャンパス～」というテーマの研修で、学び直し、で新年に良いスタートを切っていただきたいという思いで研修を企画しました。ぜひこの機会に多くの皆さんと学んでいきたい内容です。

- ◆日時：1日目 令和3年12月20日（月）14:00～17:00 3時間（Zoomを活用したオンライン研修）
2日目 令和3年12月22日（水）14:00～17:00 3時間（Zoomを活用したオンライン研修）

◆テーマ：

「ブレンディッドラーニング実践～オンライン授業*でのアバター活用とバーチャルキャンパス～」

中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」や産業界による「Society 5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方」でも取り上げられている通り、新たな時代に対応するための教育改革推進が求められています。

こうした中、コロナ禍の影響下で急速に進んだオンライン授業の実践は、まさに Society 5.0 に向けた新たな教育の取り組みであり、中央教育審議会「教学マネジメント指針」内容からも、今後、学生の学習成果を最大化する教学マネジメントの充実・推進が、わが国の高等教育機関において必要不可欠になってきています。

そこで、今回は学習成果を最大化するための手法の一つである「ブレンディッドラーニング」事例をご紹介します。実践演習を行います。

「ブレンディッドラーニング」を構成する要素は多くある中で、特に「メディア（oVice, NICE CAMERA, Mozilla Hubs 等）」「提供手段（アバター&バーチャルキャンパスによる、オンライン同期型かつ双方向型）」の観点で特徴的な事例です。アバター活用は、自由自在に「見た目」を選択できる学習環境により、個別最適化されたコミュニケーションの実証実験を、バーチャルキャンパスは、仮想空間で「いつでもどこからでも気軽に集まれる」「大人数でも少人数でもコミュニケーションがとりやすい」等の特徴を活かして学びのコミュニティづくりの検証を行いました。

実践演習では、参加者各自がアバター制作とアバターを活用したオンライン授業（2分程度）を行っていただきます。

*本研修での「オンライン授業」とは、講義（教員の解説を聞く）、質問（教員に質問する）、発表（学生が全体の前で発言する）、議論（学生同士、または学生と教員が議論する）の4つのシーンを対象とします。

(キーワード)

個別最適化、アバター、オンライン授業、ブレンディッドラーニング、コミュニケーション、バーチャルキャンパス、コミュニティ

◆研修の概要：

第1日目 2021年12月20日(月)

時間	概要	詳細内容
13:30~14:00	受付	Zoomのミーティングルーム
14:00~14:30 (30分)	(1) 事例解説(アバターを活用したオンライン授業、バーチャルキャンパス)	自己紹介 ブレンディッドラーニングを構成する要素、アバター活用授業とバーチャルキャンパスの実践(某大学、デジタルハリウッド大学大学院)について解説致します。
14:30~14:45 (15分)	(2) 事例実演	アバター作りを実演致します。参加者の皆様に疑似体験していただきます。
14:45~15:00 (15分)	(3) 今後の課題	研究、実践から見てきた課題の解説と現在取り組んでいることをお伝え致します。
15:00~15:15 (15分)	質疑応答、休憩	質疑応答を行います。
15:15~17:00 (105分)	(4) キャラクター人格検討とアバター制作(VRoidStudioを活用)	アバターのキャラクター検討と制作を行います。各受講者1体を作ります。

※時間内で制作し終わらなかった場合は宿題といたします。

※適宜休憩を入れます。

第2日目 2021年12月22日(水)

時間	概要	詳細内容
13:30~14:00	受付	Zoomのミーティングルーム
14:00~14:15 (15分)	(1) 宿題確認、ディスカッションタイム	各受講者がアバター1体を完成できているかどうか確認します。 第1日目の研修内容に対する「気づき、有益な情報、お悩み」をグループでシェアします。
14:15~14:45 (30分)	(2) アバターをオンライン授業空間に取り込む(NICE CAMERAを活用)	NICE CAMERAを使って、各受講者が制作したアバターをオンライン上で表現させます。
14:45~15:15 (30分)	(3) キャラクター人格を生かしたオンライン授業シナリオ作り(自己紹介と授業一部、合計2分間)	自作のアバターを登場させた模擬授業シナリオを作ります(個人ワーク)。
15:15~16:45 (90分)	(4) プレゼンテーション ※(3)で検討したオンライン授業を実演していただきます。	自作のアバターを登場させた模擬授業を実演していただきます。実演者以外は意見・感想を記載

		頂きます（終了後に実演者に共有）。
16:45～17:00 (15分)	(5) 振り返り、クロージング	質疑応答、アクションプランシート記入、アンケートを行います。

※適宜休憩を入れます。

【事後】 2日目の（4）での実演授業録画を編集したものを納品いたします。

【研修期間中のコミュニティ】

研修期間中（12月20日～12月22日）、参加者同士・研修講師が交流できる場を Slack で用意いたします。今回の研修では、アバター制作という実技が含まれますので特に技術面のサポートを意図しています。

◆講師： 小林英恵 氏

EdTech 研究・実践家

探究型キッズプログラミング教室 アルスクール中野校長

オンライン学校 ワンラインスクール代表

デジタルハリウッド大学大学院修士課程 在学中

早稲田大学教育学部卒業後、株式会社高島屋に入社。

その後、通信制大学で教員免許を取り、公立小学校教諭に転職。学級担任として、「子ども会議」「自主計画宿題」「子どもがつける成績評価」など、子ども主体の学級経営を実践。

2020年独立し、現在、デジタルハリウッド大学大学院で EdTech を研究しながら、オンライン学習環境デザイナー・プロデューサーとして活動、自治体、私立学校、NPO 法人など、様々な教育機関のプロジェクトに携わっている。

また、IT 系ベンチャー企業で EC サイト構築 CS、子ども向けゲームアプリ開発など、多動力を活かしたパラレルキャリア、プロジェクトベースドワーキングを実践中。

※経歴詳細 <https://hanae.style/>

【高等教育機関（教職員）向けセミナー実績例】

デジタルハリウッド株式会社主催の FD セミナー『ブレンディッドラーニング事例セミナー～オンライン授業でのアバター活用とバーチャルキャンパス～』（2021年度）

（参加大学・専門学校例）

大阪市立大学、大阪教育大学、鳥取大学、三重大学、山口大学、関西学院大学、慶應義塾大学、東洋大学、立命館大学、早稲田大学、専門学校岡山情報ビジネス学院、富山情報ビジネス専門学校、新潟コンピュータ専門学校、等他多数

◆参加料

全専研会員校 10,000 円/1名
全専研非会員校 15,000 円/1名

◆定員

30名（両日参加できる方が条件です。片方のみ参加は受け付けません。）

◆必要環境

ネット環境、Webカメラ&マイク付きPC（スマホ、タブレットは不可。OSはWindowsのみ可、Macは不可です。）

以下の2つのアプリをPCにインストールしておいて下さい。

VRoidStudio <https://vroid.com/studio>

NICE CAMERA <https://nicecamera.kidsplates.jp/download>

※NICE CAMERAはMac非対応です。

※NICE CAMERAの動作には下記いずれかのソフトが必要となります。

- ・UnityVideoCapture
- ・Microsoft Visual Studio C++2015

※PC推奨スペック

OS：Windows 8.1以降

CPU：Intel Core i5 第4世代以降・AMD Ryzen 5 第3世代以降

メモリ：8GB以上

ストレージ空き容量：10GB以上

◆申込み方法 申込み受付期間 10月19日（火）～11月19日（金）

申込みを受け付けた場合は返信・確認のメールを送付させていただきます。

また 12月10日(金)までに参加料を下記口座にお振込みください。

【振込先】

北陸銀行 小杉支店 普通口座

口座番号：6040565（店番号：214）

シヤ) ゼンコクセンモンガツコウキヨウイクケンキユウカイ

口座名義：一般社団法人全国専門学校教育研究会

領収書はメールPDFにて送付させていただきます。

【お問い合わせ】

担当 学校法人河原学園 木村 隆浩

メール kimura@kawahara.ac.jp 電話 089-943-5333